

2019 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書 提出用

公益財団法人 橋本財団
理事長 橋本 俊明 様

2020 年 5 月 25 日

ふりがな	すびーかーず・びゅーろーおかやま		
団体名	スピーカーズ・ビューロー岡山		
代表者名	役職名	会長	氏名 米山晴巳
連絡先	住所	岡山市北区岩田町 5-20	
	TEL	086-225-0873	
	E-mail	still-1963@citrus.ocn.ne.jp	
	URL		
設立年（西暦）	2004 年		
主な活動	心の病気や障害に対する偏見や差別を解消するための講演活動。 機関誌の発行。 会員同士の交流会。		
活動の対象者	一般市民、医療福祉関係者、学生。		
助成活動名	精神障害に対する普及啓発活動		
助成額	341,280 円		
実施内容	目的	精神障害に対する偏見除去、普及啓発	
	内容	2019.11. 3、スピーカーズ・ビューロー岡山設立 15 周年記念講演会（元こらーる岡山診療所所長、山本昌知先生を講師として開催）と、会員（当事者）による座談会を開催。 場所はピュアリティまきび。参加人数 101 名（一般市民、医療福祉関係者、当事者、学生、ご家族） 講演演題「体験を生かす」 座談会テーマ「心の病が気づかせてくれた大切なこと」 ボランティア参加 8 名、当団体スタッフ 8 名。 記念誌、記念品（クリアファイル）を作成、配布。	
	成果	当初、70 名程度の集客を想定していたが、100 名を超える来場があり、当団体の成り立ちや、活動について知っていただくことができた。 支援者のいない中、当事者が全て中心となり、講演会を開催できた。これにより、当事者は活動に対して大きく自信が持てるようになり、自尊心の回復に役立った。 この講演会がきっかけでネットワークができたご家族の方もおり、地域で孤立しがちな精神障害者をサポートできたと考えます。	
今後の課題と対応策	今後は幅広く活動をしていけるように、普及啓発に必要なパンフレットや、小冊子を活用しながら一般市民や学生に対してアプローチしていきたい。 職場でのメンタルヘルスも大事になってきているので、一般市民に活動を知っていただき、普及啓発していくことが課題である。		

参加者・利用者
の感想など

統合失調症をはじめとする精神疾患について、どんなに机上で学んでも理解できなかったことが、当事者の話を聴くことで少しずつではあるが、理解できるようになった。

心の病を持っていても、自信をもって堂々と発表する姿に感動した。

山本先生の講演にあったように、ありのままの自分で良いと認めることが大切だと感じた。

写真の提出

